

基本目標1	環境意識の向上 － 環境について考え行動する人づくりを進めるまち －
-------	---------------------------------------

基本方針1.1	環境学習・環境教育の推進	
施策	主な取組み	実施した主な内容
環境学習・環境教育の推進	① 学校における環境学習・環境教育の推進	● 「羽島市の環境（児童版）」を更新し、小学校・義務教育学校の9校に児童用タブレット端末経由で配布した。 【生活環境課】
		● 環境問題について調べたり、問題を解決するためにできることを考えることで、身近な環境問題とSDGsを関連させる学習を行った。【学校教育課】
		● 絶滅危惧種であるイタセンパラの飼育展示を羽島中学校・桑原学園・中島小学校・正木小学校・市立図書館で実施した。身近に触れ合うことにより、生息環境や環境保全について興味促進を図った。 【生涯学習課】
	② 地域における環境学習・環境教育の推進	● 小学生（福寿小学校5年生）の田植え・稲刈の農業体験学習のサポートを行い、児童が農業に触れ合う機会を提供した。 【農政課】
		● 「ゼロカーボンシティ実現に向けた包括連携協定」を締結している東邦ガス(株)の協力をにより、環境学習講座「親子で学ぶ電気を発電してみよう」を夏休み期間に開催した。参加者 17組【生活環境課】
		● 市民や児童を対象にごみと資源物及び水質環境などについて学ぶ出前講座を実施した。出前講座 市民7件 児童6件 【生活環境課・環境事業課】

基本方針1.2	環境保全活動の推進	
施策	主な取組み	実施した主な内容
環境保全活動の推進	① 市民等の参画・協働による環境保全活動の推進	● 地域清掃活動実施届の申請が292件あり、地域清掃で集めたごみを無料で回収する等の支援を行うことで、環境に対する市民意識の向上を図った。【環境事業課】
		● ホームページでアダプトプログラムの制度を周知し、2件の新規登録があった。同制度の実地要綱に基づき、登録団体に軍手やごみ袋を提供し、市民の清掃活動の支援を実施した。【市民協働課】

環境保全活動の推進	② 人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 岐阜県が実施している「清流の国ぎふ環境教育推進事業」で環境保全にかかる普及や活動を実施している環境教育推進員の活用について情報収集を行った。【生活環境課】</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 岐阜県知事から指定を受けた機関である「岐阜県地球温暖化防止活動推進センター」が実施している地球温暖化防止のための普及・啓発等を岐阜県地球温暖化防止活動推進員の活用について情報収集を行い、学校に周知した。【生活環境課】</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「ゼロカーボンシティ実現に向けた包括連携協定」を締結している東邦ガス(株)の専門性や能力を有する人材を子供の環境教育等に活用できるよう、意見交換及び情報共有を図り、連携を計った。【生活環境課】</li> </ul>

基本方針1.3		環境情報の発信	
施策	主な取組み	実施した主な内容	
環境に対する理解・関心度の向上	① 幅広い環境情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「羽島市の環境」を更新し、1年間で発生した公害事案の件数や家庭系ごみの量等の情報を取りまとめ、ホームページに公表した。【生活環境課】</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境月間（6月）、野外焼却禁止等の啓発、家庭系粗大ごみ戸別収集等の情報をホームページ、広報紙及びLINE等のSNSを活用して周知した。【生活環境課・環境事業課】</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各学校で「羽島市の環境（児童版）」を活用してもらい、アンケートを実施して、様々な意見を反映したものをホームページに公表した。【生活環境課】</li> </ul>	

目標指標	現状値 (2019年度)	報告値 (2023年度)	目標値 (2025年度)
市内小中学校・義務教育学校での環境教育の実施 【学校教育課】	教科指導や総合的な学習の時間の中で実施	目標値の学習内容を13校で実施 (市内全小中学校・義務教育学校)	調べ学習や体験的な学習等を取り入れた環境学習の実施
アダプトプログラム登録数 【市民協働課】	6件	17件	10件以上

羽島市環境基本計画進捗状況（令和6年3月31日現在）

基本目標2	<b>快適な生活環境</b> - 安全・安心な暮らしを実感するまち -
-------	--

基本方針2.1	快適な生活環境の保全	
施策	主な取組み	実施した主な内容
大気・騒音環境等の保全	① 良好な大気・騒音環境等の確保	● 大気汚染の常時監視、自動車・新幹線騒音監視調査等の各種環境調査を実施し、ホームページで公表した。 一般環境騒音 3か所、新幹線騒音 2か所、自動車騒音 2路線。【生活環境課】
		● 法令に基づく届出、届出方法、対象施設等をホームページで公表し、法令順守の啓発に努めた。 メールでの受付を行い、利便性向上を図った。【生活環境課】
		● 「羽島市の環境」を更新し、ホームページで公害事案対応件数等の結果を公表した。【生活環境課】
水環境の保全	① 良好な水環境の確保	● 公共用水域における定期的な水質検査を岐阜県等の関係機関と連携して実施し、ホームページで公表した。 市水質検査実施個所7か所【生活環境課】
		● 水質汚濁に関する事案が発生した場合、特定施設設置工場が原因の可能性がある事案は岐阜県に報告し、連携して解決に向けて取り組んだ。水質汚濁調査事案4件、うち岐阜県報告事案3件【生活環境課】
	② 生活排水処理の適正化	● 羽島市汚水処理施設整備構想アクションプラン及び羽島市公共下水道事業計画に基づいて公共下水道の整備を進め、供用開始区域の拡大を図った。【工務課】
		● 長寿命化総合計画に基づき環境プラントの維持補修を実施した。し尿・浄化槽汚泥の処理量 33,440kl【環境プラント】
		● 羽島市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、施設改築事業を推進した。水処理電気計装更新工事の残りを完了した。また、脱水機の増設に伴う電気改築工事を完了した。【浄化センター】

		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 浄化槽設置整備事業補助金を交付し、合併処理浄化槽の普及促進を図り、生活系排水による公共用水域の水質を改善した。 補助金交付件数 69件【生活環境課】</li> </ul>
公害に関する対応	① 公害等通報事案への適切な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現場確認を行い、法令に基づき行為者に対して指導等を行った。 202件：（内訳）野焼き 74件、騒音・振動 12件、悪臭 2件、その他 114件【生活環境課】</li> </ul>

基本方針2.2		安全・安心なまちづくりの推進
施策	主な取組み	実施した主な内容
快適な住環境の形成	① 環境美化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 雑草繁茂地は、現場確認を行い、指導が必要と判断した事案については、土地所有者等に対し、適切な管理をするよう指導等を行った。 雑草繁茂相談件数 370件 文書対応件数 207件【生活環境課】</li> <li>● 地域の環境美化を促進するため、希望する自治会に環境保全啓発用の環境美化看板を支給した。 支給枚数80枚【生活環境課】</li> <li>● 市道修繕活動を行った自治会に対し、報奨金の支払いを実施した。 73自治会。【土木監理課】</li> </ul>
	② 良好な景観形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一定規模以上の開発・建築行為に係る届出を10件受け付け、景観基準への適合を確認した。【都市計画課】</li> </ul>
	③ 緑化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国営木曾三川公園「桜堤サブセンター」堤内地の早期整備に向け、関係機関との協議・調整等の働きかけに努めた。 11月に秋のイベント「ピクニック日和」を開催した。来場者数1,835人。 3月に春のイベント「背割堤さくらまつりinはしま」を開催した。来場者数3,417人。【都市計画課】</li> </ul>
	④ 空き家の適切な管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 空き家対策セミナー及び相談会を10月と2月に開催した。セミナー参加人数 36人 市が発送する代表相続人決定通知に空き家対策のチラシを同封し、若い世代に向けた啓発を行った。【生活安全課】</li> </ul>

目標指標	現状値 (2019年度)	報告値 (2023年度)	目標値 (2025年度)
下水道供用開始区域面積割合 【工務課】	66.8%	70.8%	78.0%以上
生活排水処理率 【生活環境課】	64.9%	70.1%	71.4%以上
桑原川のBOD（生物化学的酸素要求量）の年間観測データの75%値【生活環境課】	5mg/ℓ以下	5mg/ℓ以下	5mg/ℓ以下
騒音に係る環境基準（住居地域） 【生活環境課】	A・B地域：55dB以下 C地域：60dB以下	A・B地域：55dB以下 C地域：60dB以下	A・B地域：55dB以下 C地域：60dB以下
市民一人当たりの都市公園面積【都市計画課】	7.55㎡/人	7.74㎡/人	7.65㎡/人以上
特定空き家等が改善もしくは撤去に至った件数（累計） 【生活安全課】	3件	7件	9件以上

羽島市環境基本計画進捗状況（令和6年3月31日現在）

基本目標3	循環型社会の形成 － 環境にやさしい持続的に発展するまち －
-------	-----------------------------------

基本方針3.1	5R運動(リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ・リペア)の推進	
施策	主な取組み	実施した主な内容
ごみの減量化	① 食品ロスの削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 広報紙の8月に「もったいないレシピ」、10月に「3きり運動」を掲載し、ごみの減量・食品ロスの削減の啓発を行った。【環境事業課・子育て健幸課】</li> <li>● 「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」に参加し、他自治体等の取り組みの把握に努めた。【環境事業課】</li> </ul>
	② 家庭系ごみの有料化の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 令和3年10月から家庭系ごみ（可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみ）の有料化を実施している。令和5年10月から粗大ごみの戸別収集を開始した。 可燃ごみ R2年度比削減率 14.5%減 不燃及び粗大ごみ R2年度比削減率 71.2%減 【生活環境課・環境事業課】</li> </ul>
ごみの資源化	① プラスチックごみの資源化推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● HOYA(株)アイケアカンパニーと締結した「SDGs推進に関する協定」に基づき、使い捨てコンタクトレンズの空ケースを回収した。回収量 165.34kg【環境事業課】</li> <li>● プラスチック資源循環促進法の施行に伴い、民間事業者と協力し、再資源化事業の検討を進めた。【環境事業課】</li> </ul>
	② 資源物ストックヤードの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 広報はしま8月号、ホームページに資源物ストックヤードの利用方法を掲載し、施設の利用促進を図った。【環境事業課】</li> </ul>
	③ 緑ごみの回収・資源化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 8月に利便性の向上を図るため、24時間予約可能なインターネット予約を導入した。【環境事業課】</li> </ul>
	④ 使用済小型家電の資源化推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市役所本庁舎及び資源物ストックヤードにおいて、使用済小型家電の拠点回収を実施した。【環境事業課】</li> <li>● 7月に(株)マーケットエンタープライズと「リユース施策の協定」を締結し、リユースサイト「おいくら」を通じたリユースの促進を図った。依頼件数63件【環境事業課】</li> </ul>

	<p>⑤ 廃食用油・雑がみの回収・資源化の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 廃食用油の回収を四半期毎に年4回実施した。自治会数 42、回収場所 63箇所、回収実績量 610ℓ【生活環境課】</li> <li>● 雑がみの回収に関するホームページを作成し、出前講座において雑がみ袋の作成を紹介した。【環境事業課】</li> </ul>
--	-----------------------------	---

基本方針3.2		廃棄物の適正処理の推進	
施策	主な取組み	実施した主な内容	
適正処理等の推進	① 次期ごみ処理施設整備事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 次期ごみ処理施設に関する報告、協議の場となる「ごみ処理施設環境保全協議会」を設置し、周辺地域の環境保全を図ることを目的とした「環境保全協定書」を締結した。【生活環境課】</li> </ul>	
	② 資源物持ち去り行為の対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職員による監視パトロールを実施した。【環境事業課】</li> </ul>	
	③ 不法投棄対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治会が監視カメラ設置補助事業を活用し集積所に、監視カメラを設置した。設置件数 4件【環境事業課】</li> </ul>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 不法投棄された廃棄物の回収及び処理を継続して実施した。令和4年度は168件だったが、令和5年度は114件に減少した。【環境事業課】</li> </ul>	
	④ 高齢者等ごみ出しサポートの検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者のみ等の世帯に対し、民間事業者が行う粗大ごみの収集運搬費用の一部を助成した。助成件数14件【環境事業課】</li> </ul>	
⑤ 災害廃棄物への対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「岐阜県災害廃棄物処理計画」及び「羽島市災害廃棄物処理計画」に基づき、適正な災害廃棄物の対応するために仮設トイレの設置訓練を行った。【環境事業課】</li> </ul>		
広報・啓発	① ごみ処理費用及びごみ処理方法の周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 8月に家庭系ごみの有料化の効果について、ホームページに掲載した。【環境事業課】</li> </ul>	
	② 分別方法のわかりやすい情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スマートフォン向けのごみ分別アプリ「さんあ〜る」の内容を市民にわかりやすいように改善した。登録者数 1,345人増加【環境事業課】</li> </ul>	
	③ ごみに関する学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出前講座の開催等、市民に対しごみについて学ぶ機会を提供し、啓発を行い、不法投棄やごみの抑制に務めた。出前講座 7件【環境事業課】</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学校の児童を対象に「ごみと資源物」を題材にした環境教育に取り組み、ごみの減量や適正処理に関する意識啓発を図った。出前講座 5件【環境事業課】</li> </ul>			

目標指標	現状値 (2019年度)	報告値 (2023年度)	目標値 (2025年度)
市民一人1日当たりの家庭系 ごみ排出量（可燃ごみ） 【環境事業課】	419.9g/人・日	376g/人・日	405.2g/人・日以下
不法投棄発生件数 【環境事業課】	165件	114件	165件以下



羽島市環境基本計画進捗状況（令和6年3月31日現在）

基本目標4	自然との共生 － 自然を守り共生するまち －
-------	---------------------------

基本方針4.1	自然環境の保全	
施策	主な取組み	実施した主な内容
身近な自然環境の保全	① 農地の保全と管理	● 耕作できなくなった農地所有者からの相談に対応し、農地中間管理機構の活用を働きかけ、遊休農地発生防止に努めた。【農政課】
		● 多面的機能活動団体組織11団体による農地維持・資源向上及び長寿命化の取り組みを実施した。水路の泥上げ、農地のり面の草刈りを実施した。【農政課】
	② 環境保全型農業の普及促進	● 国及び県の各種補助制度を活用し、4経営体の担い手農業者に対するスマート農業機械設備導入支援を行った。【農政課】
		● 有機農業等の環境に配慮した農業を推進した。【農政課】
	③ 身近な水辺環境の保全・維持管理	● 木曾川・長良川の堤外施設を指定管理者による維持管理（清掃作業・せん定・除草作業）を実施し、水辺環境の保全に取り組んだ。【スポーツ推進課】
		● 境川・桑原川を業務委託による維持管理（除草・清掃作業）を実施し、水辺環境の保全に努めた。【土木監理課】
地産地消の推進	① 地産地消の普及促進	● 「第2期羽島市食の地産地消計画」に基づき普及に努めた。 地産地消PR補助金交付要綱を6月に制定し、対象の地産地消推進の店認定店に周知を行った。【農政課】
	② 学校給食での地元産品の積極的利用	● 学校給食に市内産のミニトマト、十六さきげ、ブロッコリー、柿及び白菜を提供した。【農政課】

基本方針4.1	自然環境の保全	
施策	主な取組み	実施した主な内容
河川環境の保全	① 河川環境の保全・維持管理	● 河川の調査、環境教育等を取り組んでいるNPO法人長良川環境レンジャー協会が実施した6月11日に境川の水質調査等に参加し、河川調査、環境教育を実施した。 参加者20人【生活環境課】
	② 河川清掃の実施	● 10月に木曾川と長良川（各1箇所）で河川敷や堤防の一斉清掃を行った。 【土木監理課】

基本方針4.2	生物多様性の保全	
施策	主な取組み	実施した主な内容
貴重な生き物・身近な生き物の保護	① 貴重な生き物（イタセンパラ等）・身近な生き物の保護	● チラシ配布やSNS等の活用により、イタセンパラサポーターを募集し、保全活動を推進した。 5月にイタセンパラパトロールを実施した。参加者 23人【生涯学習課】
		●10月にイタセンパラ塾を実施し、講話と河川敷での体験学習により、イタセンパラの生態、取り巻く環境と保全活動の大切さを学んだ。小学生27人（一般公募） 【生涯学習課】
鳥獣害への対応	① 特定外来生物の防除	● 特定外来生物に対する注意喚起を行い、個人捕獲希望者に箱わなの貸出しを実施した。捕獲許可件数 アライグマ 64件・ヌートリア 34件【農政課】
	② 有害鳥獣による被害状況の把握と対策の実施	● 猟友会によるカラス等の猟銃捕獲やヌートリアの団体捕獲を実施した。捕獲実績 アライグマ27頭・ヌートリア 18頭・カラス 36羽(卵30個)・その他鳥獣 68頭(羽) 【農政課】

目標指標	現状値 (2019年度)	報告値 (2023年度)	目標値 (2025年度)
担い手への農地集積率 【農政課】	35%	42.9%	78%以上
GAP（農業生産工程管理）認証取得経営体数【農政課】	1経営体	0経営体	2経営体以上
市特産品目数【農政課】	3品	8品	5品以上
イタセンパラサポーター数 【生涯学習課】	168人	477人 (うち新規 84人)	185人以上

羽島市環境基本計画進捗状況（令和6年3月31日現在）

基本目標5	脱炭素社会の実現 － 環境に負担の少ない暮らしを実践するまち －
-------	-------------------------------------

基本方針5.1	地球温暖化対策の推進	
施策	主な取組み	実施した主な内容
地球温暖化に配慮した市民生活の普及	① 節電・節水の普及・啓発	● 各小学校で実施する環境学習において、市が作成した「羽島市の環境（児童版）」を活用し、省エネ活動の学習を行うことができた。【生活環境課】
	② 省エネルギーの普及・啓発	● 岐阜県が実施した「ぎふ省エネ家電購入応援キャンペーン」事業の周知を行った。【生活環境課】
行政が取り組む地球温暖化対策	① 羽島市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の推進	● 「羽島市環境管理マニュアル」に基づき、一事業者としてISO14001に準じた節電などの省エネ活動を実施し、1月に内部環境監査を行った。【生活環境課】
		● ノー残業デーの徹底、OA機器の省エネモード設定、昼休みの消灯等の節電に努めることで、電気使用量の削減を図った。【生活環境課】
		● 年間を通してノーネクタイの運用を行い、クールビズの推進に努めた。【生活環境課】
		● グリーン購入法に基づき、環境にやさしい商品を購入することに努めた。【生活環境課】
	② 羽島市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定	● 取組実績、排出量数値を集計・公表し、削減目標の達成に努めた。【生活環境課】

基本方針5.2		再生可能エネルギーの普及
施策	主な取組み	実施した主な内容
再生可能エネルギーの利用推進	① 公共施設への再生可能エネルギーシステムの推進	● 省エネ効果を把握しつつ、更に省エネに努めるため、熱源機器の運転時間や稼働時期の見直しを図った。【管財課】
		● 公共施設3施設（北部学校給食センター、図書館、市営斎場）に太陽光発電設備を導入した。【各施設管理者】

基本方針5.3		省資源・省エネルギーの推進
施策	主な取組み	実施した主な内容
自動車の燃料消費の削減	① 環境にやさしい運転（エコドライブ）の普及促進	● 公用車のエコドライブ、タイヤの空気圧の確認に努め、環境にやさしい運転に取り組んだ。【生活環境課】
	② ハイブリッドカー・低燃費車等の導入促進	● 修繕の多い車両を2台廃車、新たに1台を購入し、車両の買い替えにより消費燃料の削減に努めた。【管財課】
公共交通機関利用の促進	① 公共交通手段の確保とコミュニティバスの安定運営	● JR岐阜羽島駅を交通結節点として、鉄道・バス・コミュニティバス（2市1町）の運行により、広域的な公共交通網を確保した。【生活安全課】
		● はしまわる線にバスロケーションシステムを導入し、利用者の利便性向上及び増加を図った。【生活安全課】

目標指標	現状値 (2019年度)	報告値 (2023年度)	目標値 (2025年度)
温室効果ガス(CO <sub>2</sub> )排出量 (市公共施設)【生活環境課】	10,781t-CO <sub>2</sub>	10,448t-CO <sub>2</sub>	現状値対比 5%以上の削減
公用車のガソリン使用量 (消防・上下水道部を除く) 【管財課】	ガソリン：31,395 ℓ 軽油：3,808ℓ	ガソリン： 24,736ℓ 軽油：3,375ℓ	現状値対比 5%以上の削減
コミュニティバスの 年間乗車人数 【生活安全課】	101,343人 (2018年10月～ 2019年9月)	90,209人 (2021年10月～ 2022年9月)	102,000人以上 (2024年10月～ 2025年9月)